



「子育て家庭の伴走者として」

若松園 園長 津嶋 悟

平成30年7月1日、かねてより構想していた「児童家庭支援センター」が当法人に設置され、新規事業として運営を開始しました。「児童家庭支援センター」は第2種社会福祉事業であり、平成9年の児童福祉法改正で制度化され、その多くは児童養護施設等に附置され施設が地域支援を行う機能を果たしていますが、岡山県内の社会的養護においては今回が初めての設置となります。

児童養護施設に併設する形での運営であるため、これまでに施設で培われた養育の経験と専門性を地域に還元できるとともに、本体施設の各種専門職との連携によりその機能をさらに高めることができると期待されます。

相談する人ー支援する人、といったような関係よりも、「地域すべての子育て家庭の伴走者でありたい」という思いでこの度のセンター開設に至り、あたたかい地域づくりの輪が広がっていくお手伝いができればとスタッフ一同考えています。



キャンプ



K・K (小1)



僕はこのキャンプで楽しかったことがたくさんあります。

1つ目は、はちみつ農園でみんなではちみつソフトクリームを食べたことです。とてもおいしかったです。

2つ目はごはん作りです。僕は火おこしと炊飯を任されました。美味しく炊けるように頑張りました。とても難しかったし、時間がかったけれど、自分たちで作ったごはんはとてもおいしかったです。

N・T (中1)



第37号
発行

社会福祉法人
備作恵済会 若松園

〒703-8261
岡山市中区海吉206番地
TEL (086) 277-2261 (代)
FAX (086) 276-6925
<http://www.wakamatsuuen.or.jp/>

僕はさつき寮になって初めてのキャンプに行きました。初めは不安でしたが、みんなと一緒にいる内に楽しく過ごせて安心することができました。

花火や星空観察、朝早く起きて昆虫採集をして楽しかったです。ただ、1匹も見つかなかったので残念でした。

ご飯作りをみんなで協力して作りました。みんなで作った薪山やきそばはとてもおいしいかったです。帰りに温泉でゆっくりしたので2日分の疲れがとれて、だいぶ楽になりました。

今回のキャンプを通して来年は、1番上として普段でも準備、片付けを年下のお手本にならないといけないことを学びました。

T・G (高2)



平成30年7月1日開設



開所日 365日 年中無休
開所時間 9:00~18:00
対面相談 9:00~18:00
電話相談 24時間対応

※相談はすべて無料です

086-237-7373

090-9417-7300

※開所時間外はこちらへ



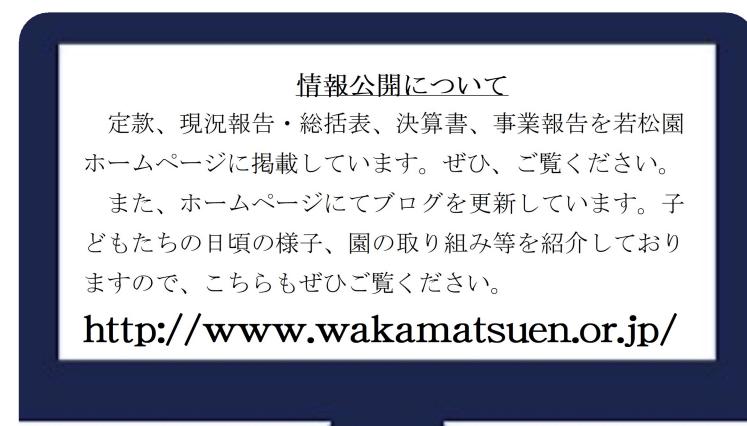
お子さんからは将来のことについて、親御さんからは子どもとの関わりなどについての相談を受け、一緒に考えながら進めています。
上記連絡先まで、お気軽にご相談ください。

情報公開について

定款、現況報告・総括表、決算書、事業報告を若松園ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

また、ホームページにてブログを更新しています。子どもたちの日頃の様子、園の取り組み等を紹介しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

<http://www.wakamatsuuen.or.jp/>



お知らせ

社会福祉法第82条の規定により、本法人では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めていますので、何かあればお気軽にご相談ください。

*若松園 苦情解決責任者

津嶋 悟

*若松園 苦情受付担当者

廣瀬 由貴
086-277-2261

<第三者委員>

*中国学園大学
子ども学部 准教授

槇尾 真佐枝
086-293-2831

*主任 児童委員

來住 久益子
086-274-7983

平成30年7月1日より当園苦情受付担当者が変更となりましたので、お知らせします。

編集後記

岡山市初の児童家庭支援センターが当園を開設されました。今後さらに、地域から必要とされる存在でありたいと思います。

(編集委員一同)

★児童構成★

	未就学児		小学生					中学生			高校生			その他	合計		
	1・2歳	年少	幼稚園児	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	0	0	2	2	2	1	3	2	6	2	1	5	3	1	3	0	33
女	1	3	2	1	1	1	2	3	1	1	2	2	4	2	2	0	28
合計			8												0	61	

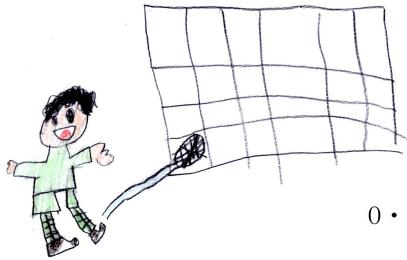
(平成30年9月1日現在)



みんなのはじめて

スポーツ少年団サッカー部

○シュートをきめれるように
がんばる。



0・S (小2)

キャンプ



K・S (小1)

インターンシップ～パン屋～



今回のインターンシップで学んだことは、挨拶とお客様との関わり方です。私が行ったお店では、とても挨拶がしっかりとっていました。

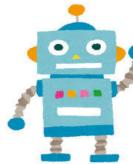
製造スタッフはパンが出来ると商品名を言い、「いかがでしょうか」と言って並べます。それを他のスタッフも復唱していました。製造スタッフは裏にいるのですが、お客様への挨拶をしていました。自分が何をしていてもちゃんと感謝の言葉が伝えられるのはすごいと思いました。私はインターンシップでそのような体験が出来て良かったです。また、こんなパン屋さんで働きたいとも思いました。

これから的生活の中で、誰かに感謝して生活ていきたいと思ったし、挨拶は当たり前のことなので、それを当たり前に出来るように頑張っていきたいです。

S・M(高2)

スポーツ少年団剣道部

剣道で弓組くなつて高学年に
月券ちたいです。
面をつけたら中学生と
高学年に月券ちたいです。
一生けんめいやります。



津山高専ロボット研究会

私は中学1年生から津山高専を目指し、勉強を頑張ってきました。無事合格し、4月から寮生活を送りながら日々頑張っています。

高専での授業はプログラミングなどの実習系の科目も多く、とても楽しいです。一方で、高専ということもあってか、数学の進行が早く、なかなか点数が伸びなかつたりもしますが、塾に通い、なんとかカバーしようと頑張っています。

部活ではロボット技術研究部に所属し、部品の加工や工具の使い方を先輩の手伝いをしながら学んでいます。工具の使用許可を取り、少しづつ出来ることを増やしています。

津山高専は津山ロボコンで何度か優勝しているので、先輩たちの技術を学んで、私もロボコンで活躍できるように頑張ります。

J・K (高1)

うらじやクラブ

はじめてうらじやをしたから
と“きど”きしたけど“おど”れて
うれしかったです。こんど“は
メタ”ルをもらいたいです。
らい年もがんばりたいです



O・T (小2)



若鬼爛漫

“うらじやを通して岡山の歴史を知る”
“踊りを通して楽しさや達成感を味わう”
“清掃活動を通して自分たちの住む街をきれいにする”
今年度はこの目的を掲げ、活動をスタートさせました。
職員の熱い思いは子どもへと伝わり、年長児や経験者が指導する姿、引っ張っていく姿が見られました。
一日、一日成長する子どもたち。来年が今から楽しみです。



今年度は岡山県共同募金会の助成を受け、おかやま桃太郎まつりに参加しました。
揃いのTシャツにより団結し、キャリーカートやクーラーボックスで荷物の運搬もスムーズになりました。踊り子、マネージャー、サポートーが一丸となり、最高の思い出となりました。
皆さん、本当にありがとうございました。

バレーボールクラブ



平成30年8月20・21日に島根県にて中国地区児童養護施設球技大会が開催されました。

主力メンバーが抜けて迎えた今大会。結果は準優勝…子どもたちにとってとても悔しい結果となりました。
自分たちに足りなかったものとしっかりと向き合い、来年の岡山大会では優勝カップを手にしてほしいと思います！！

優勝チームの監督から“挨拶” “生活態度” “バレーボールに取り組む姿勢”は一番との褒め言葉を頂きました。結果よりも大事なことを感じられたことでしょう。

私の良かったことは、ネットに近いボールでも上にあげ、相手に返せたことです。私はネットに近いボールを取るのが大の苦手で、練習では先生にネットにボールを当ててもらい、それを取る練習をしていました。練習ではなかなか出来なかつたけど、試合で出来たので良かったです。

悪かったことは、泣いてしまったことです。自分のトスが上手く出来なくて点を取られていくのが、とても悔しかつたです。でも、練習不足なので、もっと毎日ボールに触って、ボールにもっと慣れようと思いました。サーブミスも多かつたので、毎回トスを同じ場所にあげて、今は上向きに打つべきと思いました。

来年はたくさん活躍して、優勝したいです。

K・R (小6)

